認定NPO法人発達わんぱく会

年次報告書

16期 / 2025年4月～2026年3月まで

すべてのこどもたちがその子らしく生きられる社会を目指して。

2025年度は、166名のこどもたちと、104名のサポーターと歩みました。

PICKUP NEWS

●こころとことばの教室こっこ西葛西校が、葛西駅近くに引っ越しました！
●JICAと連携し、ベトナムのこどもたちへの発達支援に挑戦。
　エフバイタルのAI技術と組み合わせ、現地での療育の仕組みづくりを進めています。



ANNUAL REPORT 2025

16

グループあそびの様子。利用家族Oさん（女の子のお母さん）のインタビューは裏表紙に。



理事長
小田 知宏

ごあいさつ

2025年度も、発達わんぱく会の活動を支えてくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。

昨年は設立15周年であり、記念イベントにはこっこの卒業生やご家族、寄付者、支援者、関係機関の皆さまや元スタッフなど、多くの方々にご参加いただきました。皆さまと再会し、歩みを振り返る中で、発達わんぱく会が本当に多くの方々に支えられて今日を迎えられていることを改めて実感し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

2025年度は、ベトナムでの人材育成事業や、AIを活用した発達支援の取り組みなど、新たな挑戦を進めることができました。こうした取り組みを一過性のものにせず、継続的にこどもと家族の力になれるよう、事業として育てていきたいと考えています。

これからもNPOらしく、多様な人々と力を合わせながら、こどもたちの育ちと家族の安心を支えてまいります。広報活動や対面での交流の機会もさらに充実させ、より多くの仲間とともに歩んでいける法人を目指してまいります。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

数字で見る2025年度の発達わんぱく会

利用児童数
166名

年間療育提供回数（対面）
8,646回

すべてのこども事業「こどものひろば」利用者数
335名

寄付総額
7,057,772円

サポーター数
104名

コンサルティング契約
16件

事業の歩み

児童発達支援「こっこ」

4つの教室（東野・浦安駅前・葛西・葛西駅前）で166名の子どもたちが通いました。年間8,646回の対面療育を行い、個別療育・グループ療育・音と色の療育・おやこっこと、一人ひとりに合った支援を届けています。



浦安市相談支援「こっこ」

こっこの相談支援事業所は2025年度、81名の保護者に385回の支援を行いました。数ヶ月ごとに保護者からご家庭でのお子さんの様子やサービスへのご要望等を丁寧に聞き取り、それらに合わせた事業所をご案内したりプランの作成をお手伝いしています。



利用者の声

親と同じ目線で息子の成長を
感じてくださるので、取り繕わずに
話をすることができます。
息子らしいねと一緒に笑ってくださることが
とてもうれしいです。



小学校の学級選びに非常に
悩んでいた時に、具体的なアドバイスを
していただき、親の気持ちを辛抱強く
聞いていただきました。
毎回のモニタリングで気持ちが軽くなり、
子育てしやすくなりました。



現状で困っている事に加え、
今後発生するであろう心配事を先回りして
解決策と一緒に教えてもらえているので、
とてもありがたいです。



いつも優しく寄り添って相談にのって
下さるので、安心して相談する事が
出来てとても有難いです。
何か困った時に心強い存在です。





地域支援「こどものひろば」

東野校・浦安駅前校あわせて335名の親子が利用。
地域に開かれた居場所として、支援の入り口を広げています。

コンサルティング

全国の事業者へ開設・運営支援を提供し、16件の契約を伴走。
地域では子育て応援メッセなど5つの活動に参加しました。

広報

WEBサイト・SNSで継続的に情報を発信。
発達障害とかんしゃくに関する記事は、月間1,000名以上に読まれる
人気コンテンツになりました。

KOKKO USER VOICE

コロナ禍の育児。「つながれたことに安心」

今回、インタビューに応じてくださったのは、小学1年生と年長の姉妹の母・Oさん。こっこのつながりは4年前、当時はコロナ禍で外出も人とのつながりも大きく制限された時期でした。自治体の通園施設を使うため、こっこ相談支援事業所を利用されることになりました。

「長女が生まれまもなくコロナ禍となり、地域の子育てイベントは軒並み中止。次女は立ち会い出産も面会も叶わず、こんな時代に産んでしまってよかったのだろうかと不安に駆られました。子育ては誰にとっても大変なことだとは思いますが、加えて長女にはそれ以上に何かあるのかもしれないと薄々気づき始めて。誰にも相談できないまま入園の時期が差し迫り、不安で押しつぶされそうな時期でした。その時に、こっこの相談支援に連絡をしてつながることができ、とても安心しました」

こどものいいところを「認めて大事にしてくれた」

相談支援が始まったその半年後、こっこ東野校での個別療育を開始されました。

「姉妹でニーズが全く異なりますが、特に長女は言葉も、身体的な成長もゆっくりで、こだわりや癇癪もあり、親の私自身ですらこの子は何を考えているのか、何が好きなのか、何に困ってるのかも分からず、よく親子で泣いていました。こっこの先生は娘のことを知ろうと真摯に向き合い、歩み寄ってくださる姿勢が大変ありがたかったです。親としては、ついこどものマイナス面に気を取られてしまうのですが、『実はこの子、こんないいところもあるんです』というところこそ、こっこの先生は一番に認めて大事にしてくれました」

毎週15分の面談は「居場所」

「中でも、先生とお話しする時間は私にとって大切な時間でした。日々の些細な出来事から、『こんなこと、できました』とか、愚痴みたいなこともひっくるめて一緒に聞いていただいて、本当に親子の居場所です。我が子の成長を共に喜んでくださる方がいる、こんな嬉しいことはありません。こっこの教室はこどもを中心に、そして相談支援の方では家族丸ごと支えていただいている感覚です」

こっこまで通った道のり「大人になって思い出すのはきっとこういう時間」

「親の送迎は当初、ちょっと大変かなと思いました。でも『社会とつながるきっかけ』を頂いたと今では感じています。こども1人と向き合う良い時間にもなりました。日頃1人ずつと過ごすことは、なかなかないんですよね。雨の日はバスに乗ったり、自転車に乗って『野良猫がいたね』と話したり、ご近所のカメさんを愛でたりとか、季節の移ろいを親子で感じながら過ごす2人だけの時間って、本当にかけがえのない時間でした。こっこで待ってくれている先生がいて、いつもの場所、友だち、お母さん方がいて、私たち親子はいつも安心感を持って鼻歌交じりに向かっています。きっといつか、こどもたちが大人になって思い出すのはこういう時間なんじゃないかと思います」

こっこ相談に「お世話になっていて本当に良かった」

「(こっこ相談では)困ったことや悩んでることに的確にお返しくださり、非常に心強いです。モニタリングの度に、暑い日も雨の日もこちらに赴いてくださり、わざわざ時間を割いてご足労いただいていることの価値を感じています。どうしてもオンラインでは補完できないコミュニケーションがあると思うんですよね。事務的なこともすぐにご対応いただき、他機関への移行などもスムーズで大変助かりました。セルフプランだったら書類の書き方などで悩んでしまっていたと思うので、お世話になっていて本当に良かったです」

ご支援くださった法人・団体の皆さま

丸和バイオケミカル株式会社 / オービス・インベストメンツ株式会社 / クラノス株式会社 / 合同会社はこぶねっと / 日本小顔矯正認定協会
株式会社ジャステック / 株式会社ベンチャーサポート / 特定非営利活動法人 国際医療支援機構 / 金属資源開発株式会社
McKinsey & Company, Inc. Japan / 英国オンライン寄付財団 The UK Online Giving Foundation

※敬称略・順不同・掲載許諾分

あなたの支援が、
こどもの「できた」になります。

イベント情報やスタッフからの
メッセージなど、こっこ・わんぱく会の
いまをお届けしています。
メールマガジンへの登録や、
Instagramのフォロー、お待ちしています！

継続的なご支援を募集しています。下記より、ぜひご参加ください。

https://www.wanpaku.org/support

instagram　HP　寄付ページ

認定NPO法人発達わんぱく会
〒279-0004
千葉県浦安市猫実4-6-26 ミナモトビル401
TEL / 047-702-8822

認定NPO法人 発達わんぱく会